



■地域の方々とよりよい学校運営を目指します！

10月2日(金)町中央公民館大ホールにて、第2回町コミュニティスクール合同運営委員会代表者会が開かれました。

コミュニティスクールとは、学校と地域住民や保護者等が学校運営の基本方針の承認や、様々な課題の共有を図るとともに、学校運営への必要な支援等について協議をする場であり、地域と共にある学校づくりを目指しています。

運営委員会代表者会では、大崎中学校の事例発表や各学校の取り組み状況の報告がありました。大崎町の子供たちが、郷土に誇りをもつとともに、地域とのつながりを今以上に感じる取り組みを学校と地域が共同で行うことの大切さを共有しました。

よりよい学校運営のために、地域の方々の御協力を今後もよろしく願います。



■「健康に関する標語」特選作品に選ばれました

曾於地区学校保健会が主催する第36回曾於地区児童・生徒の「健康に関する標語」特選作品に本町から大崎中学校1年の西山愛未さんが選ばれましたのでご紹介します。

特選作品(中学生の部)

頼るなら 薬じゃなくて 私たち

大崎中学校1年 西山<sup>あやみ</sup>愛未さん



僕の夢 私の夢

『誰からも信頼される動物看護師に』

No.43 中沖小学校 6年 松下<sup>ひな</sup> 姫奈

私の将来の夢は、動物看護師になることです。動物看護師、主に獣医師のサポート役となって、入院している動物のケアや手術、治療の補助をする仕事です。また、飼い主と獣医師の間に立って、症状を分かりやすく説明したり、動物の状態を聞き取ったりするなど、ていねいにコミュニケーションを取っていくのも仕事の一部です。

私が動物看護師になろうと思ったきっかけは、飼っていた犬のまりんの存在です。10年間以上家族同然で過ごしてきたまりんが、私は大好きでした。やんちゃで人懐っこい、とてもかわいい犬です。でも、今年の春、亡くなってしまいました。その時私は、動物の命を少しでも助けられるような仕事をしたいと心に決めました。

動物看護師は、動物の苦しむところを目の当たりにしたり、死に直面したりすることもあるでしょう。それでも、その悔しい思いをばねにして、また次の動物達と向き合っていきたいです。私は、動物の気持ちが分かり、動物を元気にさせ、飼い主さんにも喜んでもらえるような動物看護師になりたいと思っています。動物は、何も言葉を発することはできないので、動物の気持ちを理解することは大変難しいことだと思います。だからこそ、数多くの動物達と触れ合い、動物の気持ちをしっかりと理解し、動物や飼い主さんの不安をなくしてあげられるようになりたいです。これから、大勢の人々から信頼される動物看護師を目指し、がんばります。